

地域医療構想等に関するアンケート集計結果

調査概要

【調査目的】

協会けんぽ千葉支部加入者の地域医療に関する意見や要望等を取りまとめ、関係者への意見発信を行い、加入者の意向を地域医療構想実現に資する。

【調査設計】

- ・ 調査対象：健康保険委員※を委嘱している協会けんぽ千葉支部加入事業所
各事業所に対し、3件の提出を依頼。対象件数は4,296件（1,432×3）。
- ・ アンケート回収件数：2,249件（回収率52.3%）

※健康保険委員とは？

協会けんぽの健康保険事業推進のため、広報・相談・モニター等にご協力いただく被保険者の方を「健康保険委員」として委嘱している。

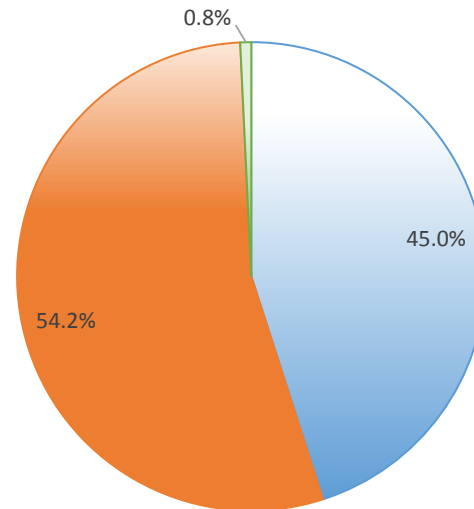
《アンケート実施日現在（平成28年9月2日）委嘱数…1,432名》

集計結果

問0. 現在の状況についてお聞かせください。

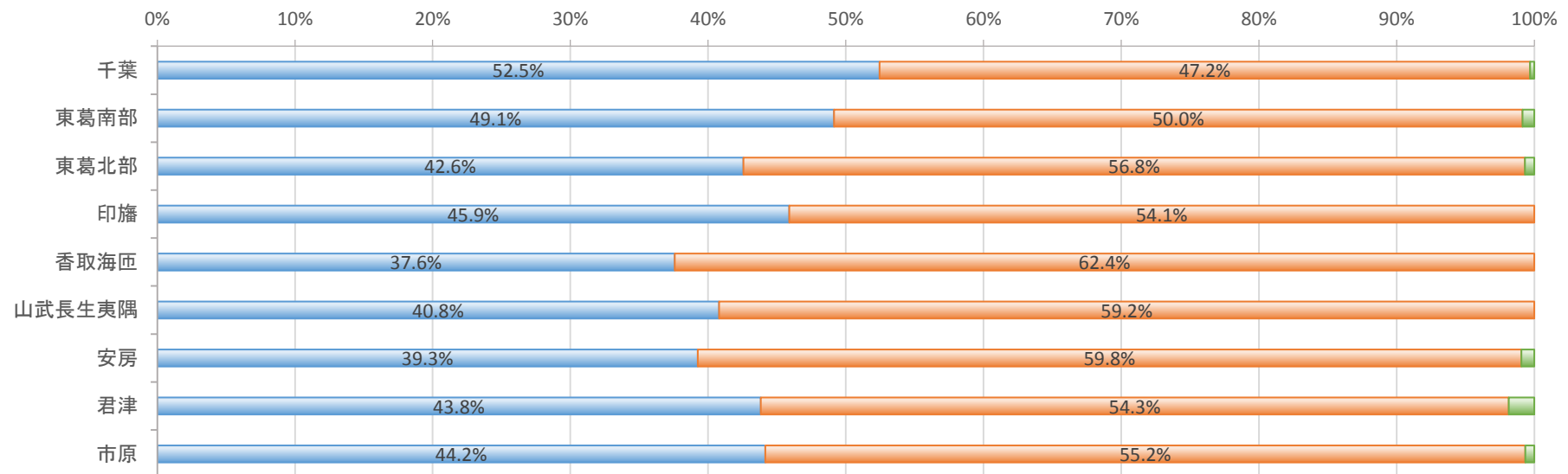
○性別

	回答数	割合
男性	1,013	45.0%
女性	1,219	54.2%
無回答・不明	17	0.8%
総計	2,249	100%



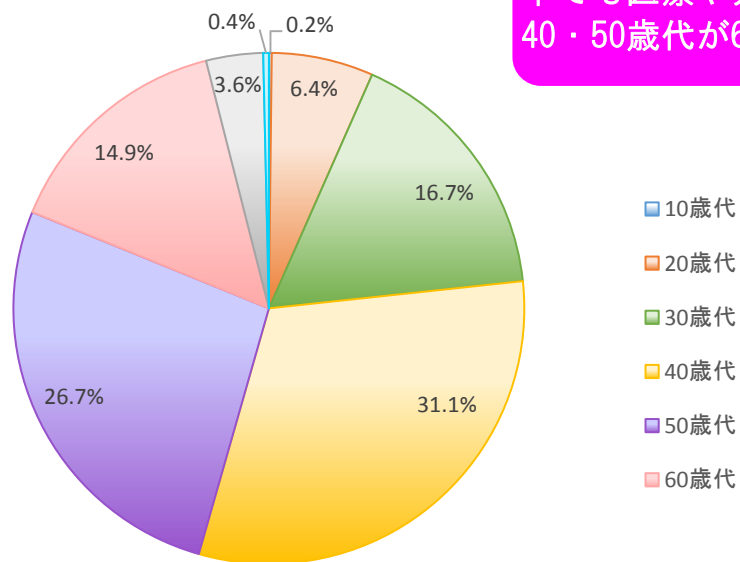
回答者はやや女性が多い。

■男性
■女性
■無回答・不明

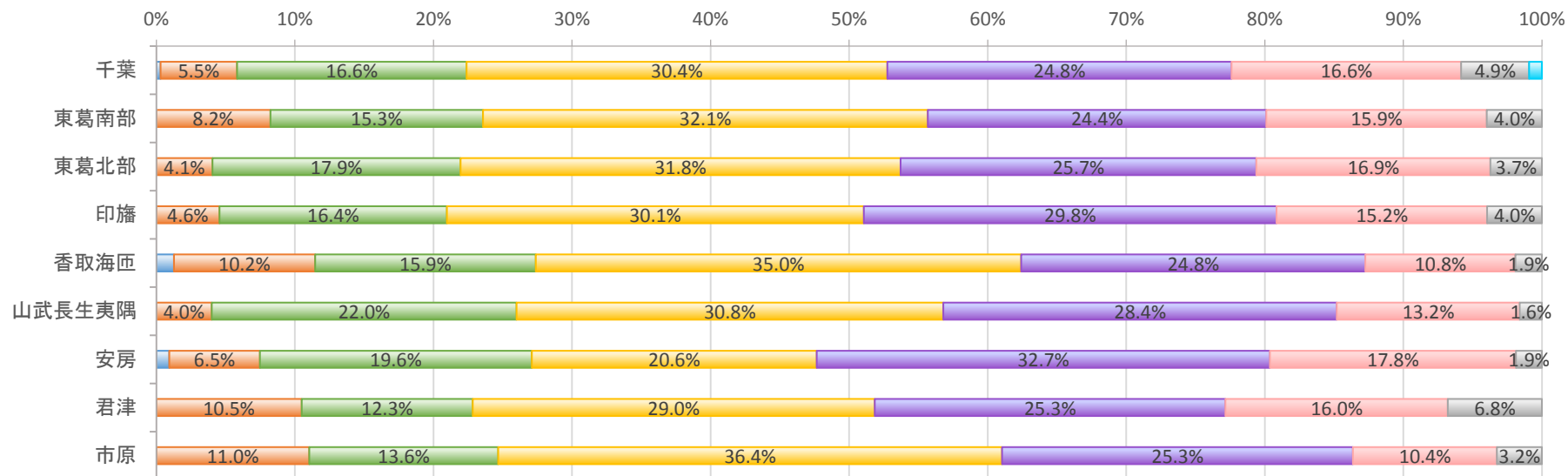


○年齢

	回答数	割合
10歳代	4	0.2%
20歳代	145	6.4%
30歳代	375	16.7%
40歳代	700	31.1%
50歳代	601	26.7%
60歳代	335	14.9%
70歳代以上	81	3.6%
無回答・不明	8	0.4%
総計	2,249	100%



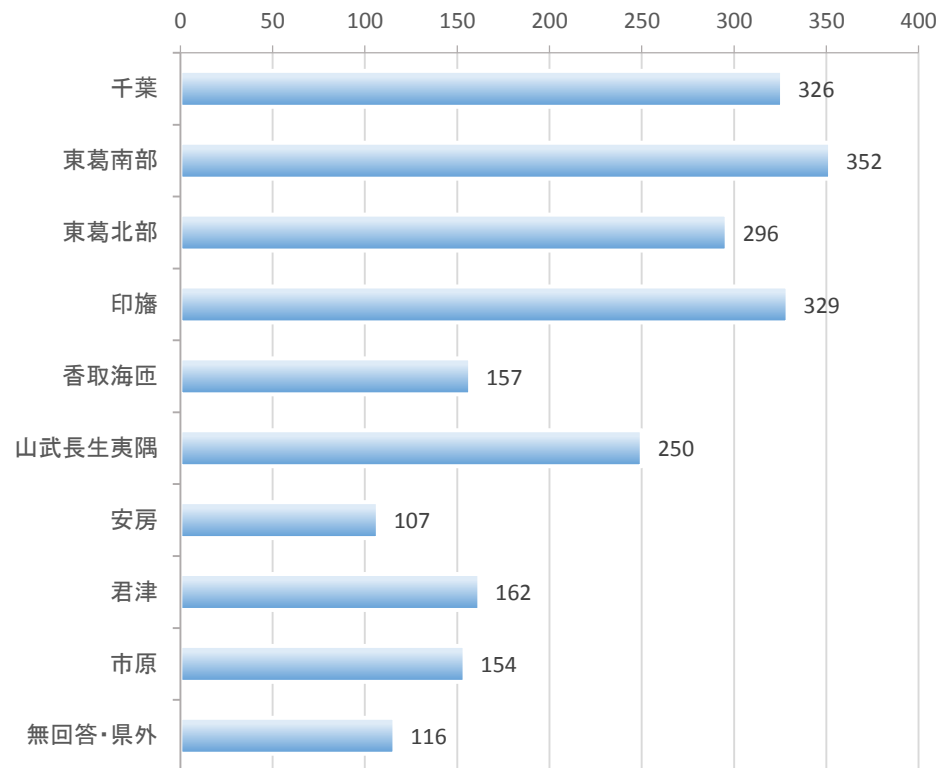
被用者保険の特質から9割が30～60歳代である。
中でも医療や介護への関心が高いと思われる
40・50歳代が6割近くを占めている。



○お住いの地域はどちらですか。

	回答数	割合	二次医療圏 ごとの人口	割合
千葉	326	14.5%	962,554	15.4%
東葛南部	352	15.7%	1,733,101	27.7%
東葛北部	296	13.2%	1,356,964	21.7%
印旛	329	14.6%	722,610	11.6%
香取海匝	157	7.0%	289,883	4.6%
山武長生夷隅	250	11.1%	446,917	7.1%
安房	107	4.8%	132,451	2.1%
君津	162	7.2%	329,654	5.3%
市原	154	6.8%	280,225	4.5%
無回答・県外	116	5.2%		
総計	2,249	100%	6,254,359	100%

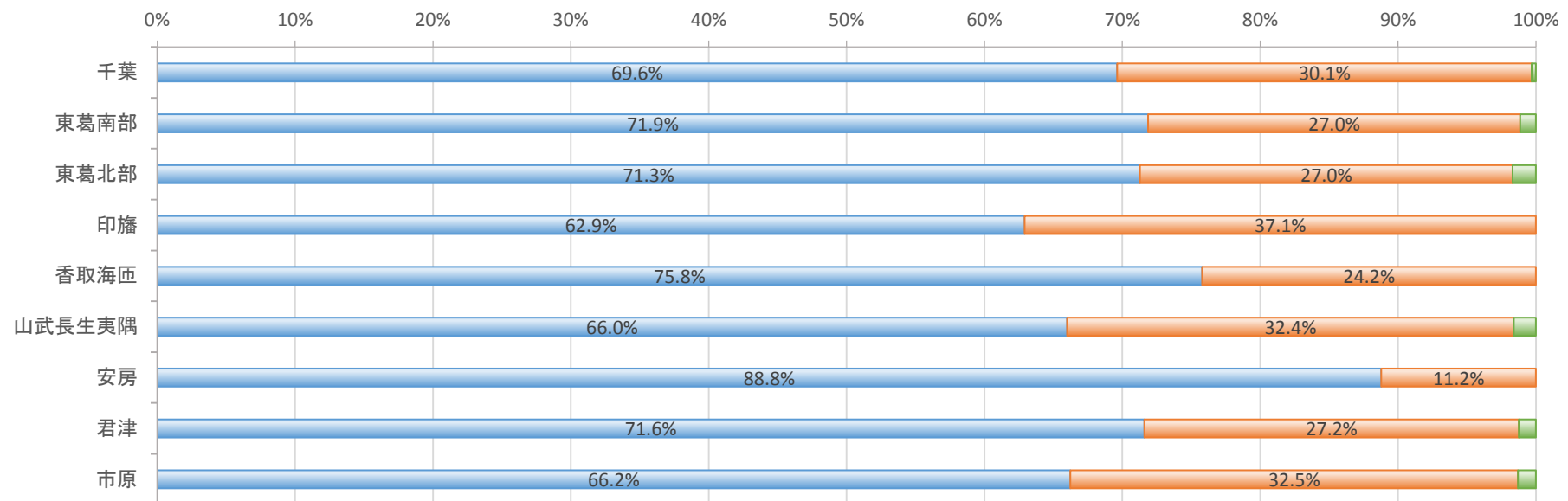
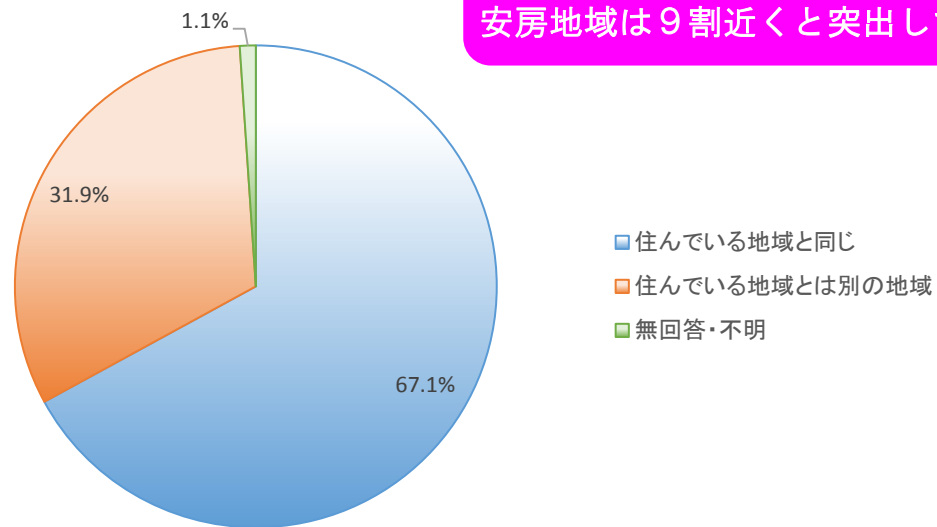
都市圏の回答数が若干少ないが、概ね人口比相当の回答が得られた。



※「千葉県年齢別・町丁字別人口」(平成27年4月1日現在)より

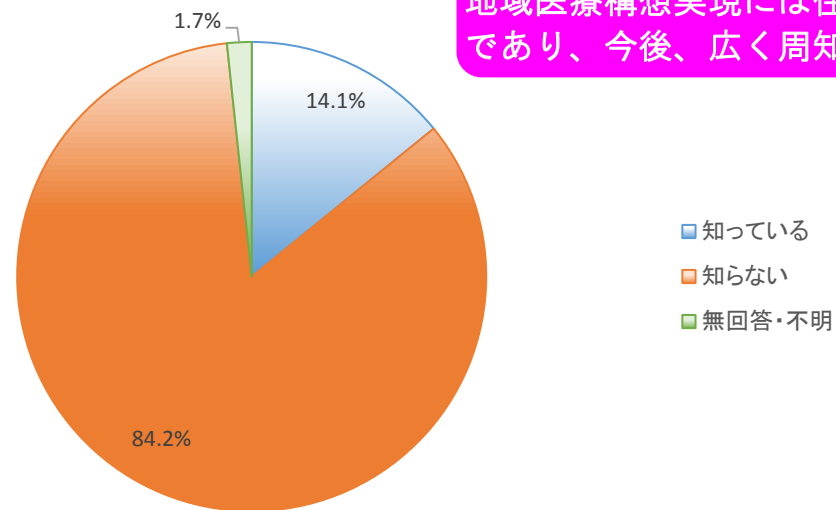
○勤務している地域はどちらですか。

	回答数	割合
住んでいる地域と同じ	1,508	67.1%
住んでいる地域とは別の地域	717	31.9%
無回答・不明	24	1.1%
総計	2,249	100%

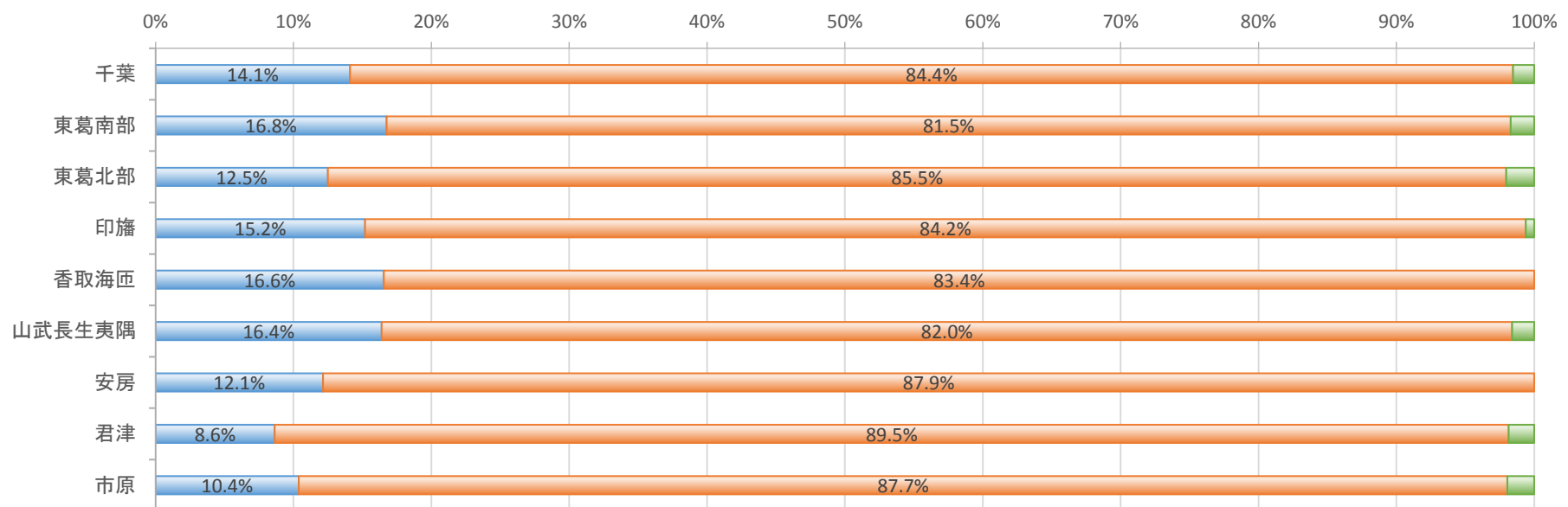


○「地域医療構想」をご存知ですか。

	回答数	割合
知っている	318	14.1%
知らない	1,893	84.2%
無回答・不明	38	1.7%
総計	2,249	100%

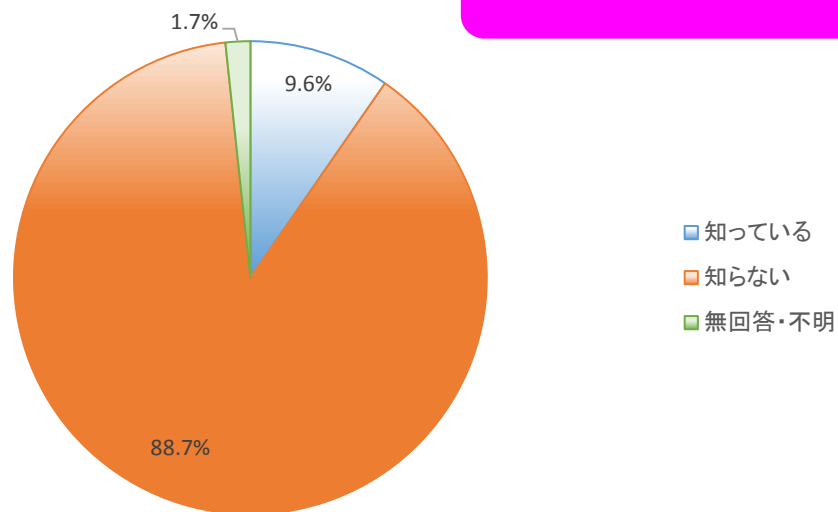


ほとんどの方が「知らない」と回答している。
地域医療構想実現には住民の理解が必要不可欠であり、今後、広く周知していく必要がある。

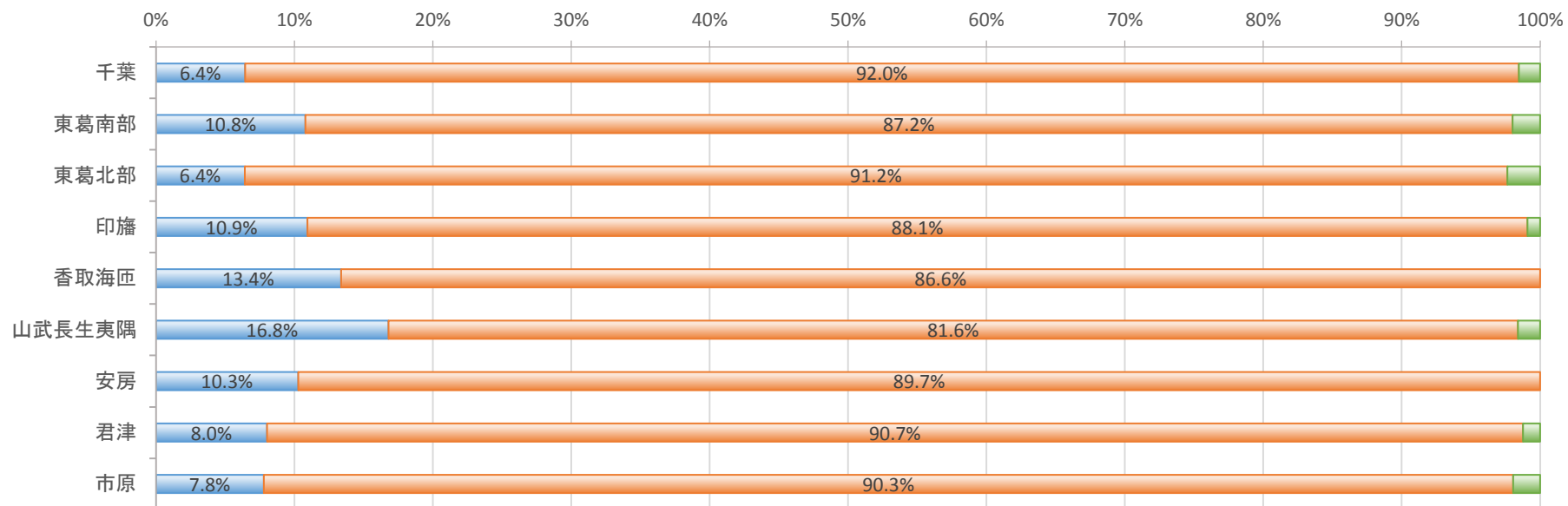


○地図で示した二次医療圏をご存知ですか。

	回答数	割合
知っている	217	9.6%
知らない	1,994	88.7%
無回答・不明	38	1.7%
総計	2,249	100%



「地域医療構想」と同様、認知度が低い
ため、広く周知していく必要がある。

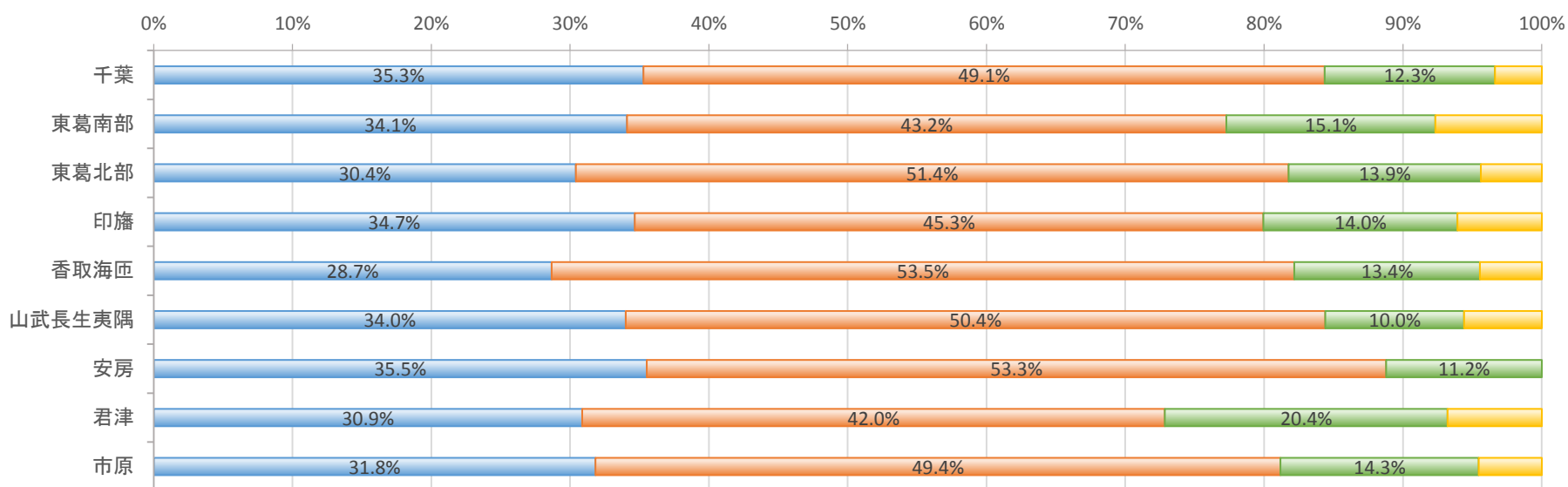
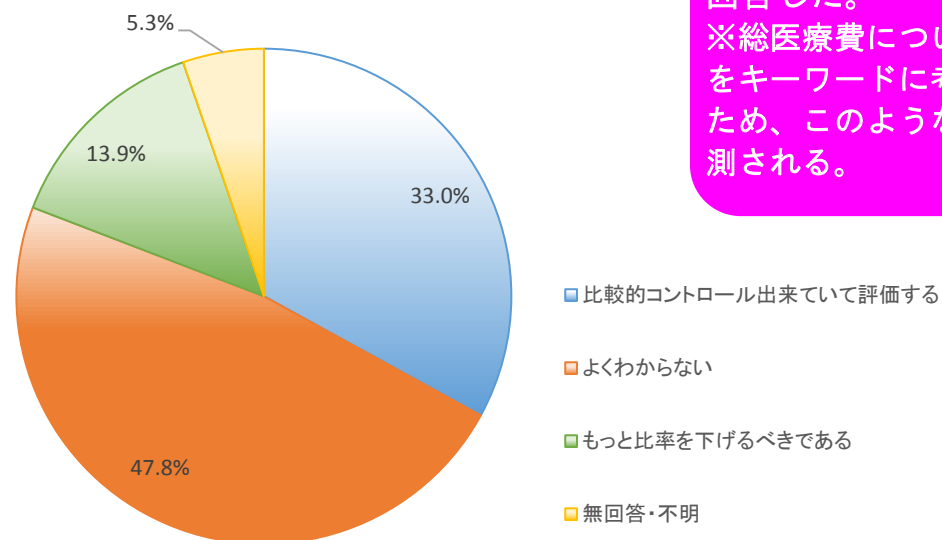


問1. <総医療費の国際比較>

主要先進7か国中、日本の総医療費の対GDP比率はほぼ平均レベルですが、あなたはどのように思いますか。

約半数が「よくわからない」と回答した。
※総医療費について“対GDP比率”をキーワードに考える機会が少ないため、このような結果になったと推測される。

	回答数	割合
1 比較的コントロール出来ていて評価する	742	33.0%
2 よくわからない	1,076	47.8%
3 もっと比率を下げるべきである	312	13.9%
4 無回答・不明	119	5.3%
総計	2,249	100%

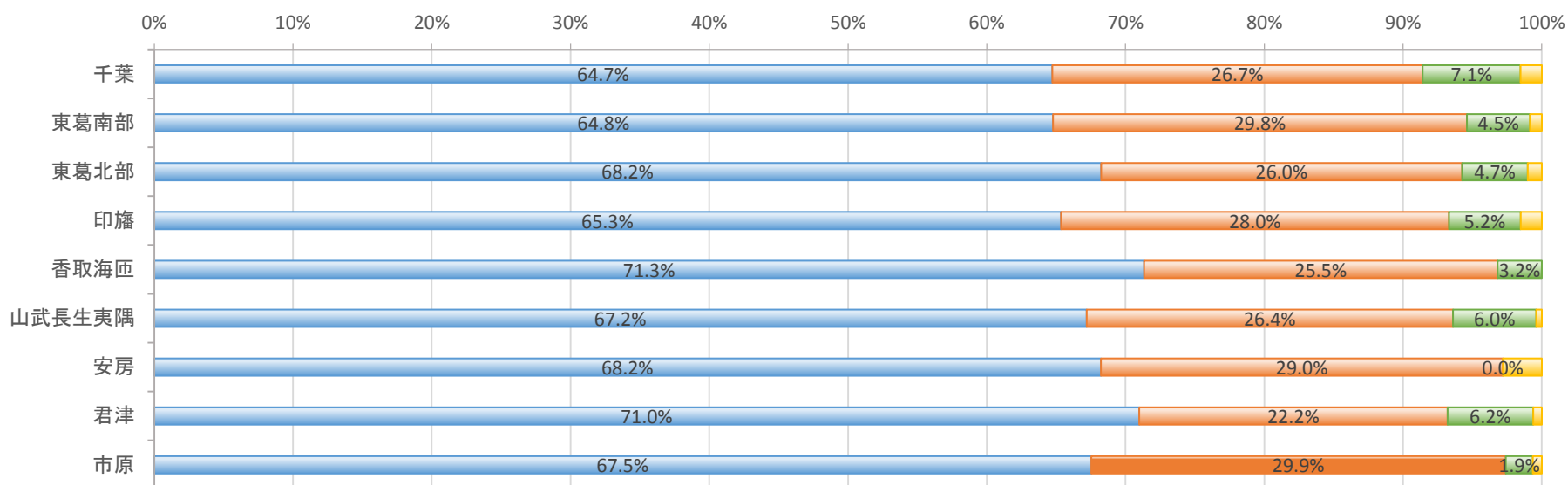
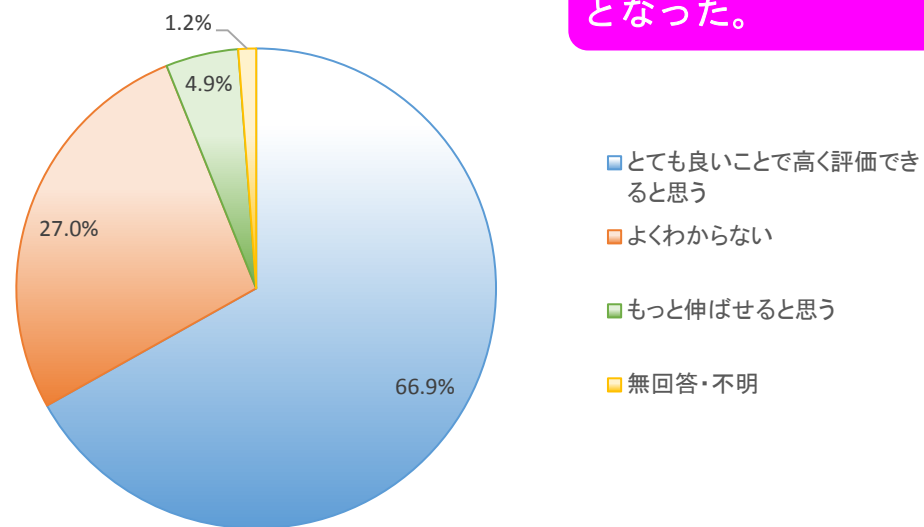


問2. <平均寿命の国際比較>

世界で日本の平均寿命は男性が2位、女性は1位となっていますが、あなたはどのように思いますか。

7割近くが好意的に捉えている結果となった。

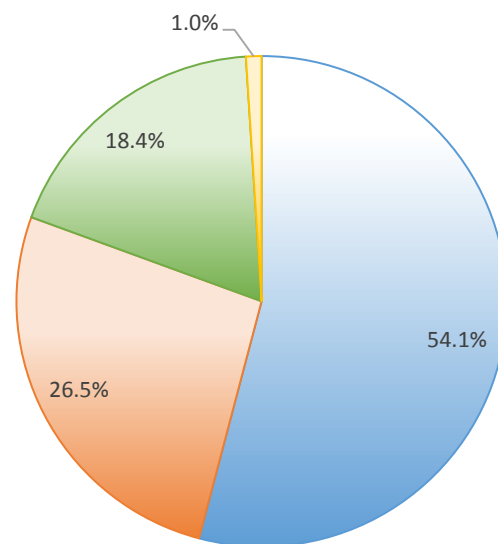
	回答数	割合
1 とても良いことで高く評価できると思う	1,504	66.9%
2 よくわからない	608	27.0%
3 もっと伸ばせると思う	110	4.9%
4 無回答・不明	27	1.2%
総計	2,249	100%



問3. <総医療費と平均寿命についてⅠ>

設問1と2の日本の現状を見て、あなたはどのように思いますか。

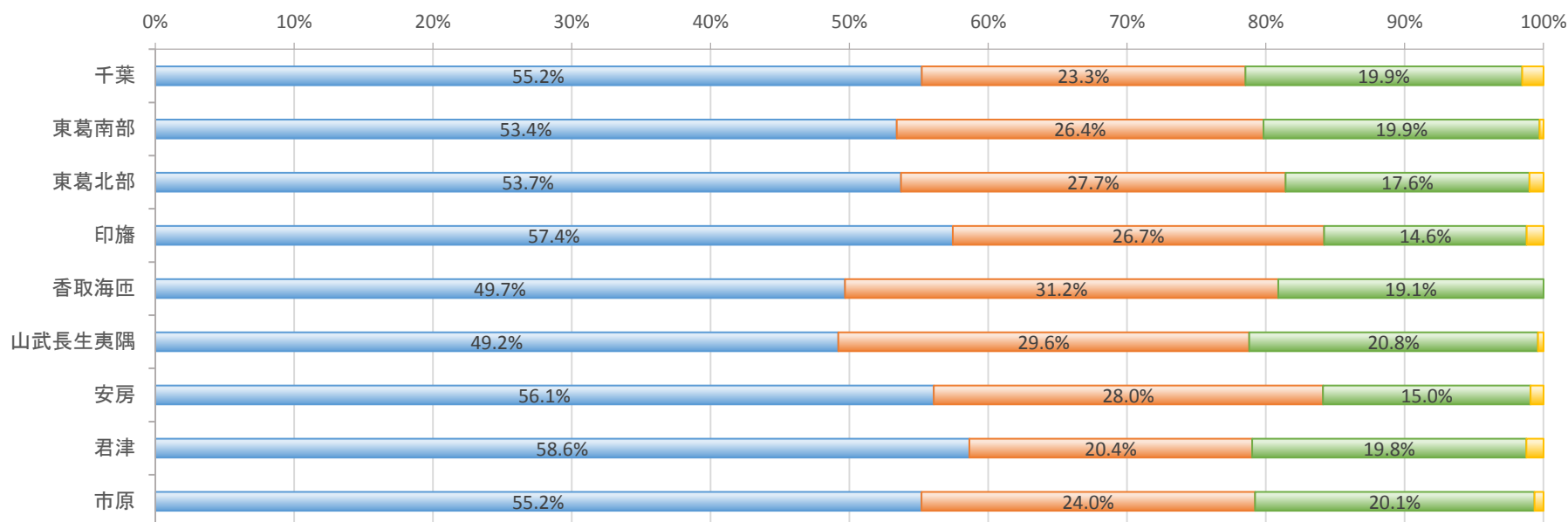
	回答数	割合
平均的な総医療費で高い平均寿命を実現していることは、とても良い事と思う	1,217	54.1%
1 よくわからない	595	26.5%
2 もっと良い状況にすべきだ	414	18.4%
3 無回答・不明	23	1.0%
4 総計	2,249	100%



半数以上が「とても良い事」と評価している。

※問1と同じく総医療費に関する設問であるが“平均寿命”というわかりやすいキーワードを用いたためか「よくわからない」と回答した方が問1と比べ少ない結果となった。

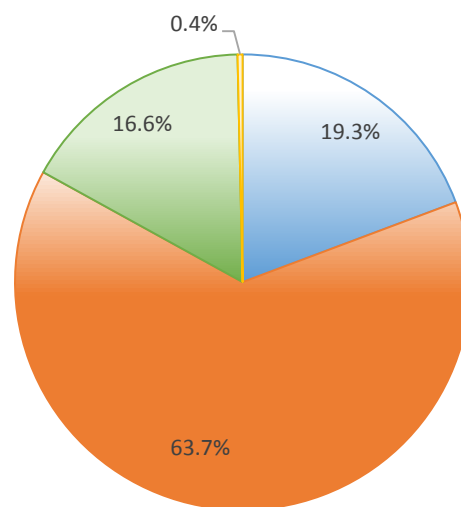
- 平均的な総医療費で高い平均寿命を実現していることは、とても良い事と思う
- よくわからない
- もっと良い状況にすべきだ



問4. <総医療費と平均寿命についてⅡ>

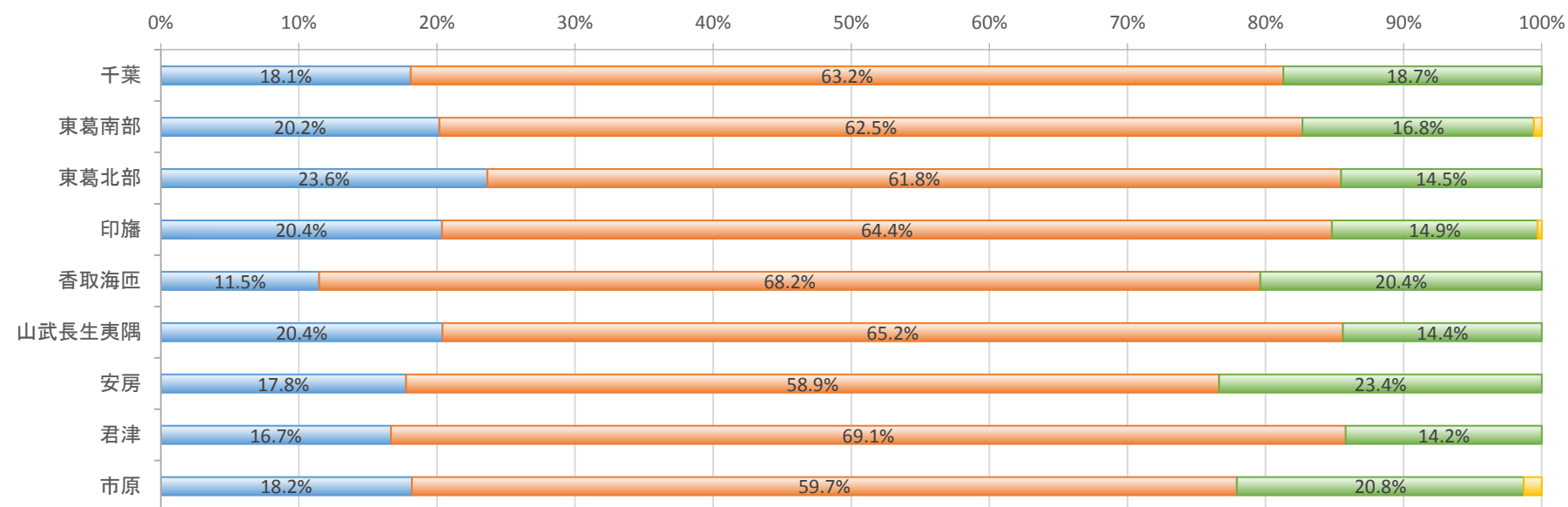
現状では主要先進国中、比較的良好な状態の医療費と平均寿命ですが、今後、急速な高齢化の進行により、医療費はますます増加していきます。2025年には団塊世代の600万人以上がすべて75歳以上となりその時の医療費は2015年度の39.5兆円から1.4倍の54兆円と予測されていますが、このことをあなたは知っていますか。

	回答数	割合
1 良く知っている	434	19.3%
2 なんとなく知っているが、良くわからない	1,433	63.7%
3 知らない	374	16.6%
4 無回答・不明	8	0.4%
総計	2,249	100%



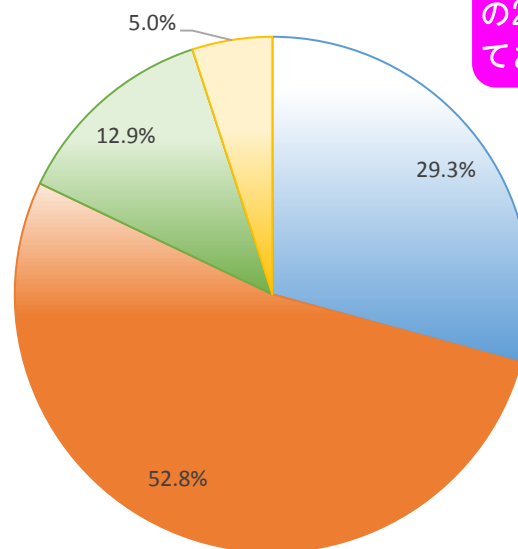
「2. なんとなく知っている」を含めれば8割以上の方が高齢化による医療費の増加を認識している。

- 良く知っている
- なんとなく知っているが、良くわからない
- 知らない
- 無回答・不明



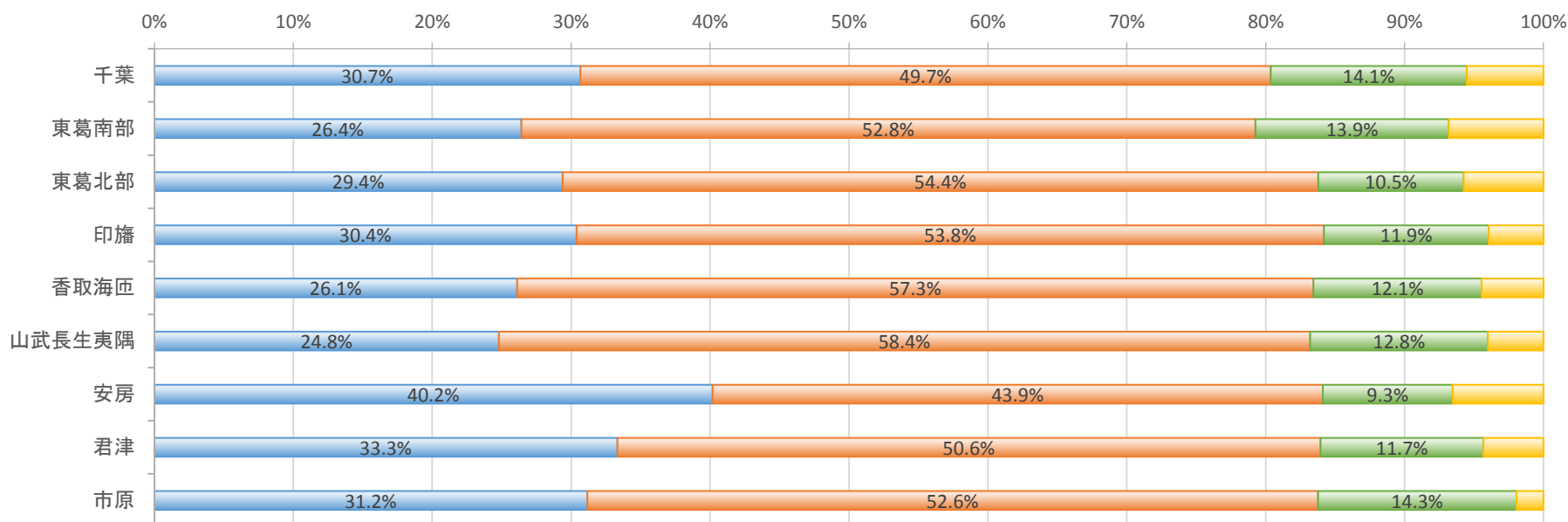
問5. 設問4のように増加すると予想されている医療費ですが、その財源確保の方法としてはどの方法が良いとお考えですか。

	回答数	割合
1 健康保険料の支払いが増えてもやむを得ない	658	29.3%
2 税金で賄うべきで、直接自分の支払いが増えるのは無理だ	1,188	52.8%
3 医療の質を落とす、受診の制限等で医療費を制御すべきだ	290	12.9%
4 無回答・不明	113	5.0%
総計	2,249	100%



自身の負担増には否定的な意見（2及び3）が3分の2を占める中、3割は保険料の負担増を容認しており、特に安房地域では4割を超えている。

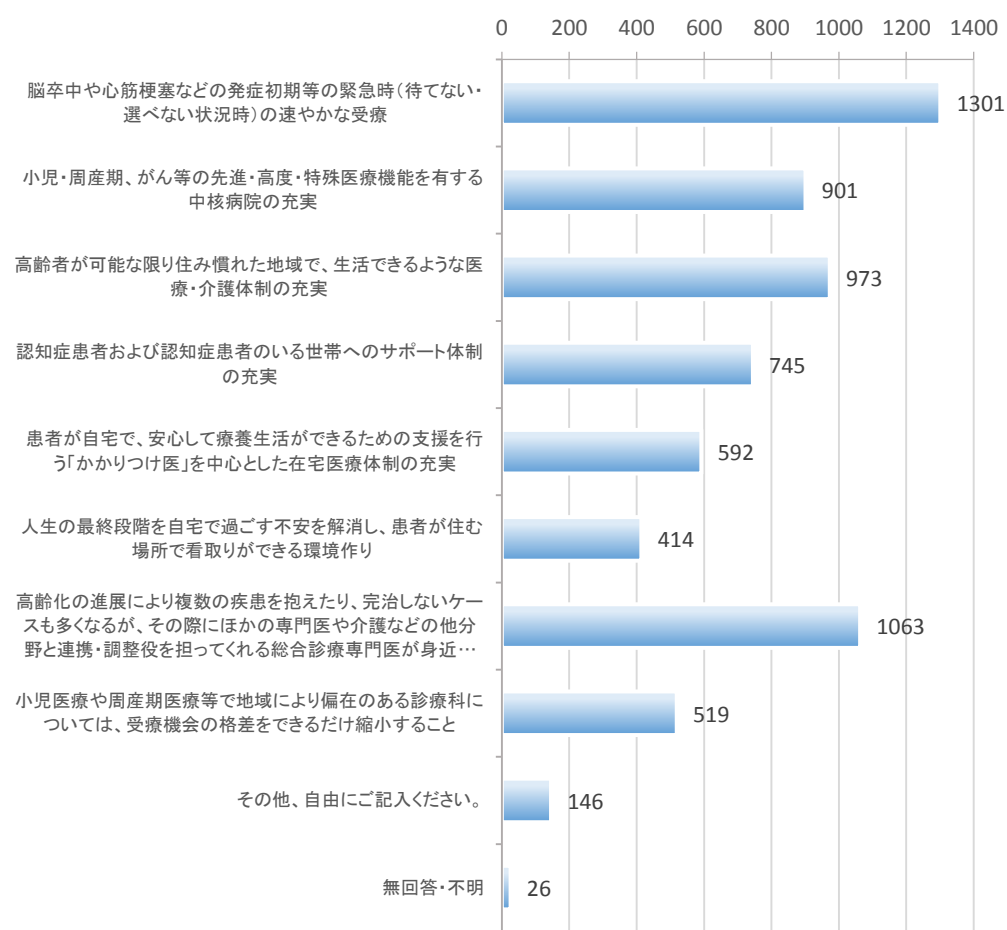
- 健康保険料の支払いが増えてもやむを得ない
- 税金で賄うべきで、直接自分の支払いが増えるのは無理だ
- 医療の質を落とす、受診の制限等で医療費を制御すべきだ
- 無回答・不明



問6. <今後、協会けんぽに意見発信を期待する事項について>

今、国は2025年を見据えて、医療費抑制のために様々な取り組みを進めています。その一環として、各都道府県において「地域医療構想調整会議」が二次医療圏ごとに設置され、昨年度より議論が始まりました。この会議では二次医療圏ごとの医療提供体制について協議がされますが、我々は医療を受ける立場からの意見発信が大事であると考えます。あなたがお住いの地域において、次の項目から優先したいことを3つ選んでください。

	回答数	回答数割合	回答者数割合
1 脳卒中や心筋梗塞などの発症初期等の緊急時（待てない・選べない状況時）の速やかな受療	1,301	19.5%	57.8%
2 小児・周産期、がん等の先進・高度・特殊医療機能を有する中核病院の充実	901	13.5%	40.1%
3 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、生活できるような医療・介護体制の充実	973	14.6%	43.3%
4 認知症患者および認知症患者のいる世帯へのサポート体制の充実	745	11.2%	33.1%
5 患者が自宅で、安心して療養生活ができるための支援を行う「かかりつけ医」を中心とした在宅医療体制の充実	592	8.9%	26.3%
6 人生の最終段階を自宅で過ごす不安を解消し、患者が住む場所で看取りができる環境作り	414	6.2%	18.4%
7 高齢化の進展により複数の疾患を抱えたり、完治しないケースも多くなるが、その際にほかの専門医や介護などの他分野と連携・調整役を担ってくれる総合診療専門医が身近にすること	1,063	15.9%	47.3%
8 小児医療や周産期医療等で地域により偏在のある診療科については、受療機会の格差をできるだけ縮小すること	519	7.8%	23.1%
9 その他、自由にご記入ください。	146	2.2%	6.5%
無回答・不明	26	0.4%	1.2%
総計	6,680	100%	-

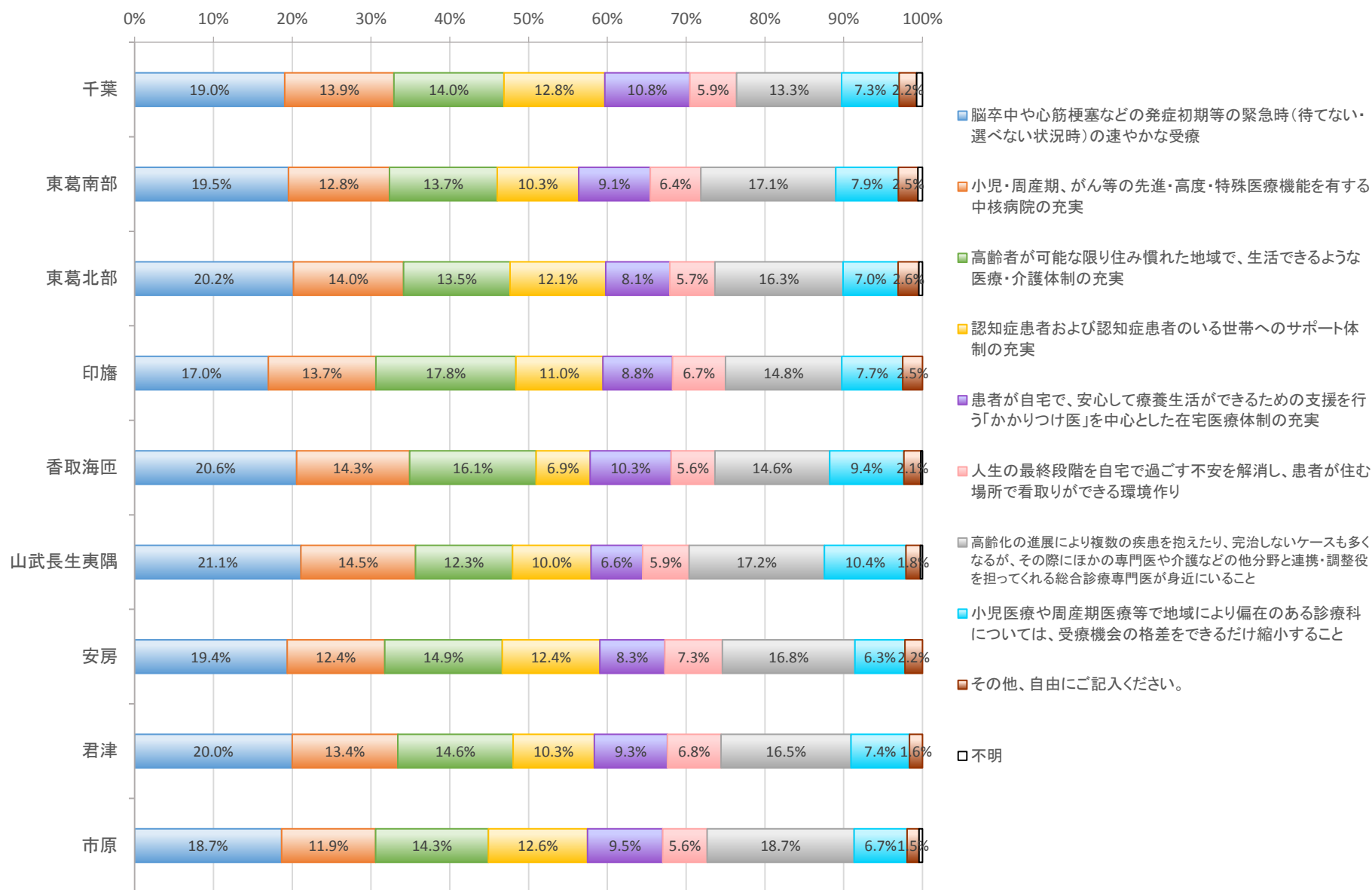


住まいの地域において優先してほしいことは「1. 緊急時の受療体制」「7. 専門医等との連携・調整役を担う総合診療医の配置」「3. 高齢者が住み慣れた地域で生活できる医療・介護体制の充実」の順であった。また、在宅医療関係の項目（3、5及び6）は合わせると2,000件弱となり、関心の高さがうかがえる。

<次頁へ続く>

問6. <今後、協会けんぽに意見発信を期待する事項について>

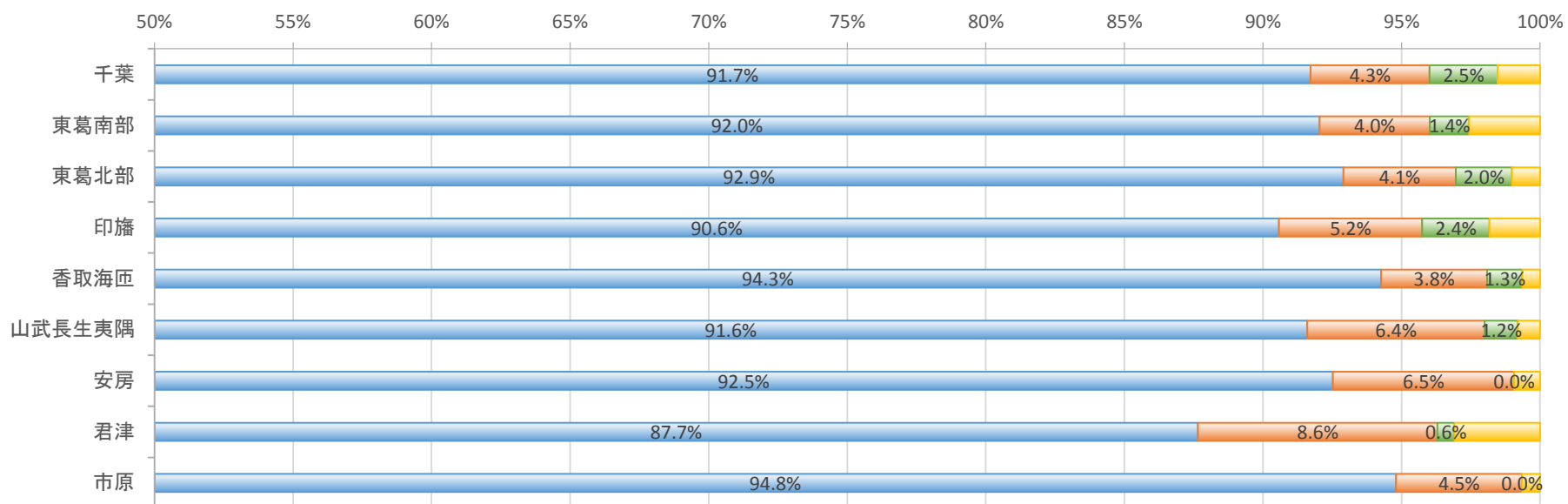
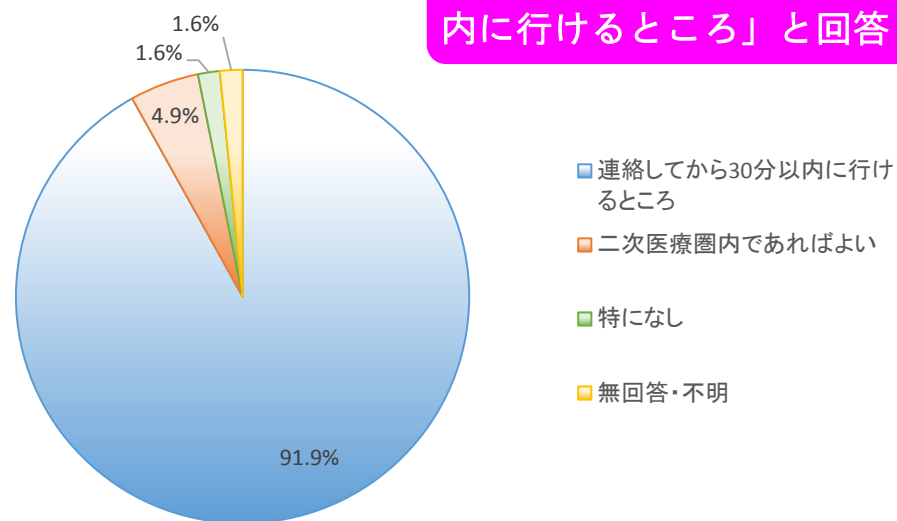
<前頁へ続き>



問7. <病院へのアクセスについてⅠ>

脳卒中や心筋梗塞など緊急性を要する場合、医療機関は最低限どこにあれば安心ですか。

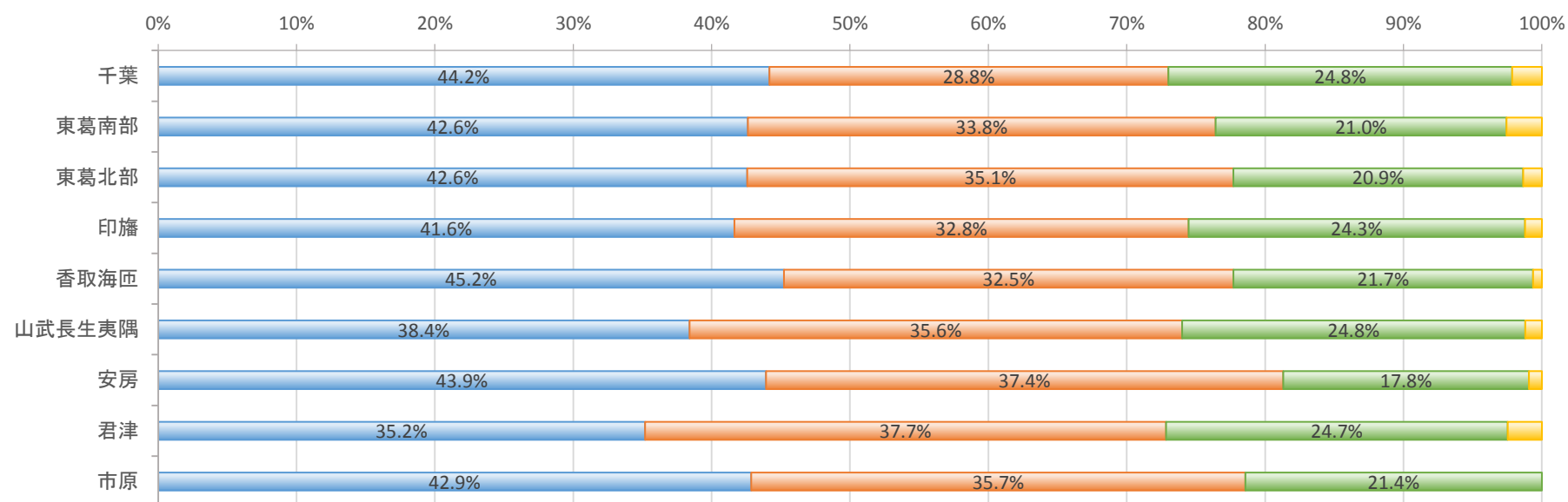
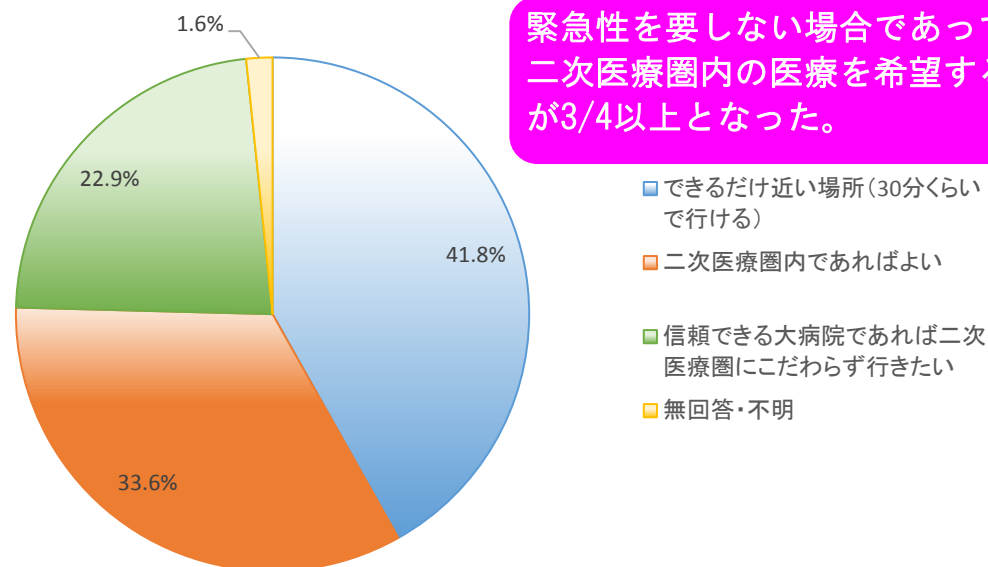
	回答数	割合
1 連絡してから30分以内に行ける ところ	2,067	91.9%
2 二次医療圏内であればよい	111	4.9%
3 特になし	35	1.6%
4 無回答・不明	36	1.6%
総計	2,249	100%



問8. <病院へのアクセスについてⅡ>

小児やがん等の先進・高度・特殊医療を要するが、ある程度待てる（緊急性を要しない）場合、医療機関はどこにあれば安心ですか。

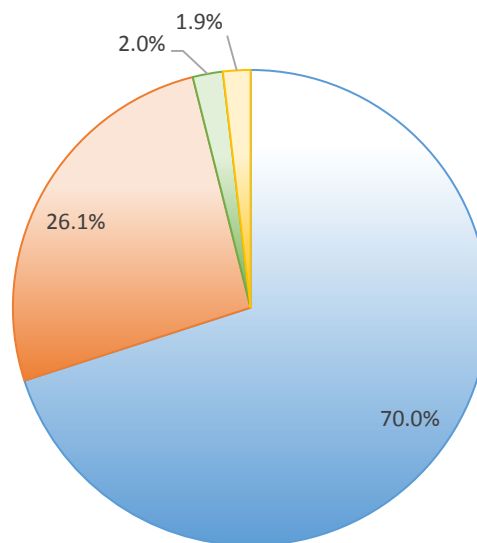
	回答数	割合
1 できるだけ近い場所（30分くらいで行ける）	941	41.8%
2 二次医療圏内であればよい	755	33.6%
3 信頼できる大病院であれば二次医療圏にこだわらず行きたい	516	22.9%
4 無回答・不明	37	1.6%
総計	2,249	100%



問9. <病床機能の調整について>

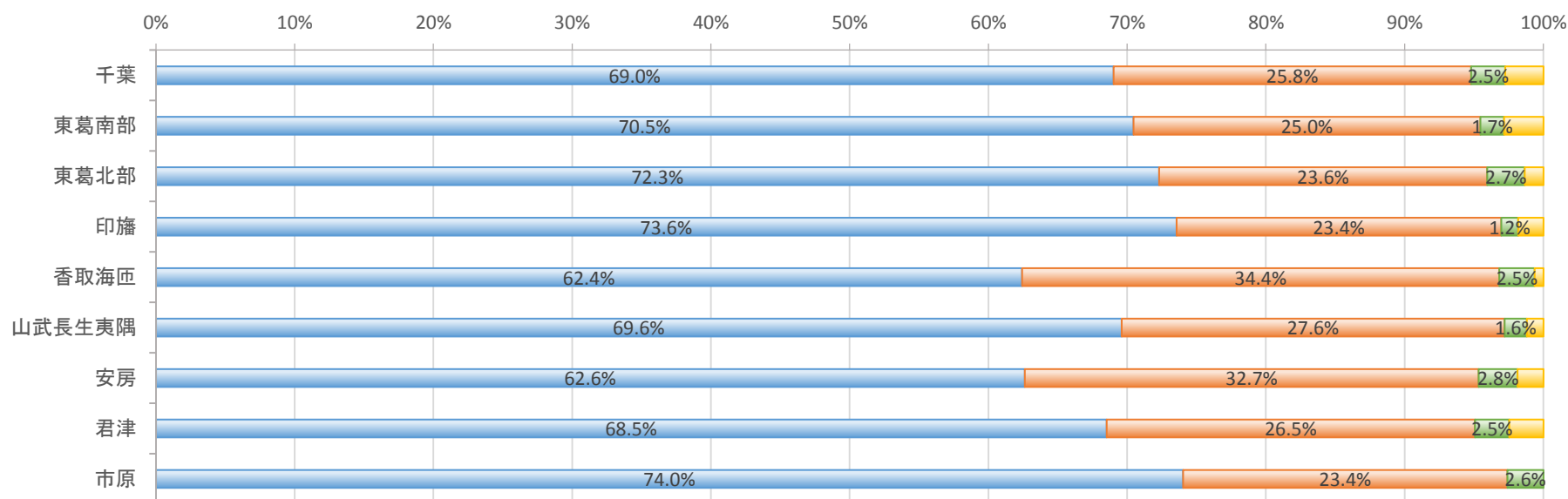
千葉県では「地域医療構想」を策定する中で、高齢化及び年齢別人口構造を見据えて病床機能（緊急対応機能やリハビリ機能など）の見直しを進めています。これにより医療の供給と需要の適正化及び医療費の適正化を図ることとしています。このような方針をどう思いますか。

	回答数	割合
1 良い事であり進めたほうが良いと思う	1,575	70.0%
2 よく分からない	586	26.1%
3今のままで特に変える必要はない	46	2.0%
4 無回答・不明	42	1.9%
総計	2,249	100.0%



7割が病床機能の調整が必要と感じている。

- 良い事であり進めたほうが良いと思う
- よく分からない
- 今のままで特に変える必要はない
- 無回答・不明

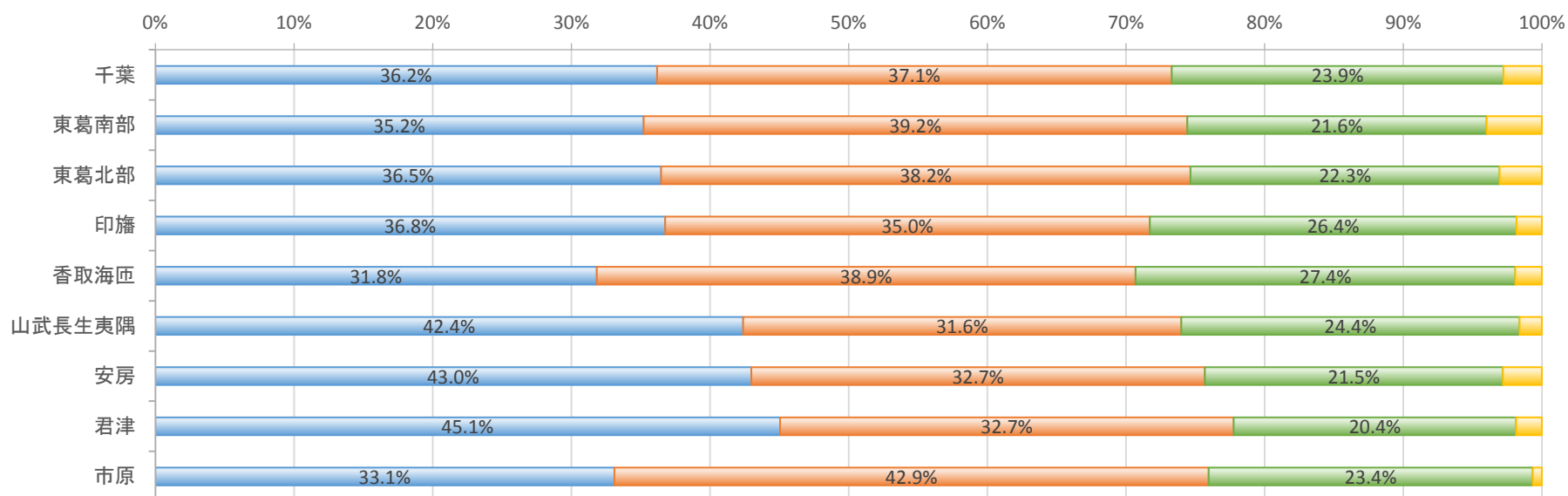
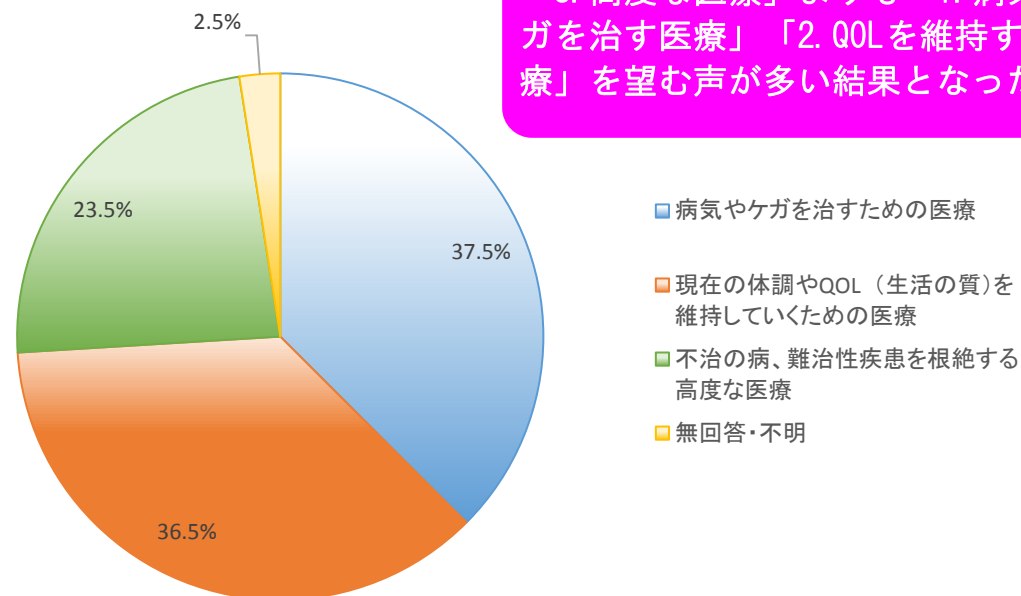


問10. <今後の医療について>

これからの医療に最も期待することで、あなたのお考えに近いものはどれですか。

「3. 高度な医療」よりも「1. 病気・ケガを治す医療」「2. QOLを維持する医療」を望む声が多い結果となった。

	回答数	割合
1 病気やケガを治すための医療	843	37.5%
2 現在の体調やQOL(生活の質)を維持していくための医療	822	36.5%
3 不治の病、難治性疾患を根絶する高度な医療	528	23.5%
4 無回答・不明	56	2.5%
総計	2,249	100%



問11. <健康保険料の負担について>

健康保険料の負担について、あなたのお考えに近いものはどれですか。

負担減を求める意見（1及び4）が優勢であるが、負担増もやむなしとの意見（2及び3）も少なくない。

	回答数	割合
1 現在の保険料率（全国平均10%）が負担の限度である	1,022	45.4%
2 医療の質を維持するために、必要であれば多少の負担増はやむを得ない	600	26.7%
3 今より質の高い医療を受けるためであれば、必要に応じて保険料が上がるのはやむを得ない	285	12.7%
4 現在の保険料率（10%）は高すぎるので、下げてほしい	297	13.2%
5 無回答・不明	45	2.0%
総計	2,249	100%

